様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校東京デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人２１世紀アカデメイア

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
デザイン専門課程	グラフィックデザイン学科（2年制）	夜・通信	１７１０時間	８０×２＝１６０時間	
	イラストレーション学科（2年制）	夜・通信	１７１０時間	８０×２＝１６０時間	
	インテリアデザイン学科（2年制）	夜・通信	１７１０時間	８０×２＝１６０時間	
	フィギュアデザイン学科（2年制）	夜・通信	１７１０時間	８０×２＝１６０時間	
	マンガ学科（2年制）	夜・通信	１７１０時間	８０×２＝１６０時間	
	映像デザイン学科（2年制）	夜・通信	１７１０時間	８０×２＝１６０時間	
	プロダクトデザイン学科（2年制）	夜・通信	１７１０時間	８０×２＝１６０時間	
	ファッションデザイン学科（2年制）	夜・通信	１７１０時間	８０×２＝１６０時間	
	コミックイラスト学科（2年制）	夜・通信	１７１０時間	８０×２＝１６０時間	
	デザイン研究学科（1年制）	夜・通信	８７０時間	８０×１＝８０時間	
	デザイン総合学科（3年制）	夜・通信	２５２０時間	８０×２＝１６０時間	

建築専門課程	建築デザイン学科（2 年制）	夜 ・ 通信	１８３０時間	８０×２＝１６０時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

閲覧形式にて公表 東京デザイナー・アカデミー　本校舎事務局：東京都千代田区神田駿河台 2-11

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校東京デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人 21 世紀アカデメイア

１．理事（役員）名簿の公表方法

HP 掲載の事業報告書 8 ページに記載 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r6/R6 事業活動報告書.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	独立行政法人プロジェクトリーダー（現職）	2025 年 5 月 30 日～2029 年定時評議員会終結時	ガバナンスの強化
非常勤	大学教授（現職）	2025 年 5 月 30 日～2029 年定時評議員会終結時	ガバナンスの強化
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校東京デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人 21 世紀アカデメイア

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） （授業計画について） （グラフィックデザイン学科　昼間部（２年制)、イラストレーション学科　昼間部（２年制)、インテリアデザイン学科　昼間部(２年制)、フィギュアデザイン学科　昼間部（２年制)、マンガ学科　昼間部（２年制)、映像デザイン学科　昼間部（２年制)、プロダクトデザイン学科　昼間部（２年制)、ファッションデザイン学科昼間部（２年制)、コミックイラスト学科　昼間部(２年制)、デザイン研究学科　昼間部(１年制)、デザイン総合学科　昼間部（３年制)、建築デザイン学科　昼間部（２年制)） 　学校長を中心としたカリキュラム編成チームで現在進行しているカリキュラムの状況確認を定期的に行っています。 　職業実践専門課程で進めている年２回（８～９月、１～２月）の教育課程編成委員会と連携をとり進めています。 　学科ごとに進めている外部委員を含めたカリキュラム編成委員会で学園・学校方針、業界の現状と今後の方向性を見据えて検討を進めています。 　カリキュラムの編成においてはキャリア・サポート・センターによる就職指導計画を含めて行っています。 （作成時期について） 　翌年度の授業計画については、１０月頃から案をカリキュラム編成チームにおいて方向性を検討し、学科担当職員と連携して進めています。１２月から１月までに作成します。 　学内の編成チーム及び教育課程編成委員会や、大きな変更がある場合は理事会の承認得て決定されます。 （公表方法について） 　シラバスの公表については本校舎事務局で閲覧可能であり、学生への周知は４月のオリエンテーション時に各学科より公表されます。

授業計画書の公表方法	閲覧形式にて公表 東京デザイナー・アカデミー本校舎事務局 東京都千代田区神田駿河台 2-11

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

「修学成果の評価にかかわる取り組み概要」について
　前後期制を採用しており、各期の終了時に実技試験及び筆記試験、レポート提出等により履修科目の評価を実施して、合格教科に対して単位認定を行っています。
　学生の成果報告の場として、１年次は９月、２年次は４月に作品発表・展示の機会を設けています。
　また、卒業認定に際しては修了制作の評価を加えて総合的に認定しています。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

　学則の細目においてＧＰＡ（Grade　Point Average）を導入し、学内の成績評価として使用しています。ＧＰＡは学生の履修した１授業科目あたりの平均成績を指します。当校では、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用しています。
　学業成績は、授業科目ごとに行う演習・実習課題及び、それらの取り組み方などを総合的に評価されます。当校では各授業の評価１００点満点を基準として、６０点以上を合格としています。評価点数により１００～９０をÅ、８９～８０をB、７９～７０をC、６９～６０をD、５９以下をE（不合格）として、成績が通知されています。
　各成績はA（４点）、B（３点）、C（２点）、D（１点）、E（０点）、に換算されます。ＧＰＡは各学年の在学期間において履修登録した科目の取得ＧＰの総和を在学期間において履修登録した科目の合計科目数にて割り算を行い算出しています。（小数点第３位以下は切り捨て）
　成績評価方法については、入学時や学期ごとのオリエンテーションにて学生へ通知しています。学則細目の閲覧公開及びＨＰ公開も予定し準備を進めております。

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公表 https://www.tdg.ac.jp/common/pdf/tdg_Information.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 所定の全過程を修了した学生で、卒業規定の基準を満たしている学生について、学校長が卒業認定を行います。 　教科目の取得単位実績が規定単位を満たした学生であること。 　デザイン専門技能者として豊かな人格を有し、２年間にわたる学習態度に優れ、意欲の高い学生であることとしています。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページにて公表 https://www.tdg.ac.jp/common/pdf/tdg_Information.pdf

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校東京デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人 21 世紀アカデメイア

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r6/R6_貸借対照表.pdf
収支計算書又は損益計算書	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r6/R6_損益計算書.pdf
財産目録	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r6/R6_財産目録.pdf
事業報告書	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r6/R6_事業活動報告書.pdf
監事による監査報告（書）	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r6/R6_監査報告書.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養		デザイン専門課程	グラフィックデザイン学科	○	―
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	１７１０ 単位時間／単位	２７０ 単位時間 /単位	１０８０ 単位時間 /単位	３６０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１８０人	１６７人	７０人	１１人	２４人	３５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
様式第２号の３に記載した内容を参照
成績評価の基準・方法
様式第２号の３に記載した内容を参照
卒業・進級の認定基準
様式第２号の３に記載した内容を参照
学修支援等
（概要） （学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定Ａ～Ｅの５段階で評価し、評価Ａ～Ｄに対して１年次授業料を減免します。評価Ａ：９０万円減免、評価Ｂ：４５万円減免、評価Ｃ：１０万円減免、評価Ｄ：５万円減免となります。 （カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
64 人 (100%)	0 人 (0%)	43 人 (67.2%)	21 人 (32.8%)
（主な就職、業界等） 広告全般、Ｗｅｂ関連、出版・編集、印刷、イラスト・キャラクター（ゲーム）関連等			

（就職指導内容） 就職セミナーの実施→応募書類の書き方、就職活動のマナー等のレクチャー、模擬面接、一般常識テスト・適性検査、学内企業説明会 個別カウンセリング→応募書類の添削、企業のマッチング、面接練習等 業界研究の授業実施 上記の内容を進めています。
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩士検定等 マスキングテープのデザインを毎年採用頂き大手企業で販売、ガラス製品のデザイン提案も進めており墨汁を入れる瓶のデザイン採用や２年ごとに自転車のデザインのリニューアル及びプロモーション広告のデザインなどを手掛けさせて頂いています。
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72 人	5 人	6.9%
（中途退学の主な理由） 留学生が増加の傾向があり、出席率の関係でビザ問題や日本人は家庭事情により退学に繋がるケースが増えています。精神的な面や人間関係なども含めて多様であります。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談を頻繁に行い、学生の状況確認に努めています。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	デザイン専門課程	イラストレーション学科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	１７１０ 単位時間／単位	２７０ 単位時間 /単位	１０８０ 単位時間 /単位	３６０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
２１０人	１８０人	７９人	７人	３１人	３８人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

様式第２号の３に記載した内容を参照

成績評価の基準・方法

様式第２号の３に記載した内容を参照

卒業・進級の認定基準

様式第２号の３に記載した内容を参照

学修支援等

（概要）

（学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定Ａ～Ｅの５段階で評価し、評価Ａ～Ｄに対して１年次授業料を減免します。評価Ａ：９０万円減免、評価Ｂ：４５万円減免、評価Ｃ：１０万円減免、評価Ｄ：５万円減免となります。

（カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
79 人 (100%)	5 人 (6.3%)	50 人 (63.3%)	24 人 (30.4%)

（主な就職、業界等）

デザイナー職、クリエーター職及びイラストレーター、ゲーム業界、グラフィックデザイン業界、アニメ業界

（就職指導内容）

社会人育成指導講座、学内企業説明会、学内企業選考会、個人面談、ポートフォリオ指導などの指導を進めています。

（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩士検定 　印刷会社と年賀状のイラスト制作やカードゲーム会社と連携してカードゲームイラストを手掛けています。
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
86 人	6 人	6.9%
（中途退学の主な理由） 精神的な面が原因であったり、入学後も不登校であったりして長期欠席の為に留年や退学に繋がるケースが目立つようになってきています。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 精神面で対人関係に問題を抱えた学生が多く、担任並びに就職指導担当者等と協力して学生の状況確認を頻繁にとるように努めています。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	デザイン専門課程	インテリアデザイン学科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	１７１０ 単位時間／単位	２７０ 単位時間 /単位	３６０ 単位時間 /単位	１０８０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
７０人	６４人	２４人	４人	１７人	２１人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

様式第２号の３に記載した内容を参照

成績評価の基準・方法

様式第２号の３に記載した内容を参照

卒業・進級の認定基準

様式第２号の３に記載した内容を参照

学修支援等

（概要）

（学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定Ａ～Ｅの５段階で評価し、評価Ａ～Ｄに対して１年次授業料を減免します。評価Ａ：９０万円減免、評価Ｂ：４５万円減免、評価Ｃ：１０万円減免、評価Ｄ：５万円減免となります。

（カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
23 人 (100%)	3 人 (13%)	19 人 (82.6%)	1 人 (4.4%)

（主な就職、業界等）

住宅内装デザイン会社のデザイナー・施工管理。商業空間・店舗デザイン会社の内装デザイン、施工管理。インテリアショップの提案販売、イベント制作会社の大道具制作等

（就職指導内容）

個別指導が中心。自己の強み発見、履歴書・エントリーシート作成支援、適職求人の紹介と斡旋、面接対策、適宜、企業招致の学内説明会等の指導を行っています。

（主な学修成果（資格・検定等）） ・商業施設士 ・パース検定 ・色彩士検定　など 本学科では、住宅や店舗といった空間を対象に、インテリアデザインやリノベーションを実践的に学べる授業・実習環境を整えています。実際の現場に近い学びを通じて、空間づくりのプロフェッショナルに必要なスキルと感性を身につけます。
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	2 人	8%
（中途退学の主な理由） 進路変更による退学者が目立ちます。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の状況確認を含めた個別面談を頻繁に実施して学生の学習面、生活面の悩みや問題を確認して個別相談に努めています。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	デザイン専門課程	フィギュアデザイン学科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	１７１０ 単位時間／単位	２７０ 単位時間 /単位	６６０ 単位時間 /単位	７８０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１２０人	８６人	３３人	３人	４人	７人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

様式第２号の３に記載した内容を参照

成績評価の基準・方法

様式第２号の３に記載した内容を参照

卒業・進級の認定基準

様式第２号の３に記載した内容を参照

学修支援等

（概要）

（学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定Ａ～Ｅの５段階で評価し、評価Ａ～Ｄに対して１年次授業料を減免します。評価Ａ：９０万円減免、評価Ｂ：４５万円減免、評価Ｃ：１０万円減免、評価Ｄ：５万円減免となります。

（カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
38 人 (100%)	1 人 (2.6%)	26 人 (68.5%)	11 人 (28.9%)

（主な就職、業界等）

フィギュア原型師、トイデザイナー等、商品企画、設計、モデラー、デジタルモデラー、３D CAD オペレーター等。

（就職指導内容）

１年前期：業界研究、職種研究。１年後期：具体的な就職指導準備、説明会等の開催。２年前期：説明会・見学会の開催。個別面談による対策。２年後期：未内定者対策、ビジネスマナー等の指導を実施しています。　上記の内容を進めています。

（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定・　プロダクトデザイン検定等 検定は全員実施ではなく希望者が受験。 　塗装ブース企業と産学協同で作品制作を行い成果物は学外イベント等で発表。
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	1 人	2.6%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 進路方向変更を防止するため、入学する際に方向性をしっかり確認し、特に留学生に関して、大学へ進学希望があるのかを入学前把握するようにしています。 金銭面でアルバイトと学業両立が必要な学生に関して、授業内容や課題を個別フォロー、放課後の個別スクーリング等でサポートしています。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	デザイン専門課程	マンガ学科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	１７１０ 単位時間／単位	２７０ 単位時間 /単位	５４０ 単位時間 /単位	９００ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
６５人	７７人	４３人	４人	８人	１２人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

様式第２号の３に記載した内容を参照

成績評価の基準・方法

様式第２号の３に記載した内容を参照

卒業・進級の認定基準

様式第２号の３に記載した内容を参照

学修支援等

（概要）

（学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定Ａ～Ｅの５段階で評価し、評価Ａ～Ｄに対して１年次授業料を減免します。評価Ａ：９０万円減免、評価Ｂ：４５万円減免、評価Ｃ：１０万円減免、評価Ｄ：５万円減免となります。

（カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
36 人 (100%)	3 人 (8.3%)	4 人 (11.1%)	29 人 (80.6%)

（主な就職、業界等）

漫画家、漫画家アシスタント、イラストレーター、ＤＴＰオペレーターなど

（就職指導内容）

就職セミナー（ビジネスマナー、履歴書作成）、出張マンガ編集部、企業セミナーなどの指導を行っています。

（主な学修成果（資格・検定等））

取得検定資格は特になし

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	3 人	7.5%
（中途退学の主な理由） 技術面の遅れの理由が多い。精神的な理由で登校できなくなるケースが目立ちます。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談を定期的に実施し、技術面で出遅れる学生に対して選択授業の中で補習的内容の取り組みを行っています。休業期間に補習授業を実施しています。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	デザイン専門課程	映像デザイン学科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	１７１０ 単位時間／単位	１５０ 単位時間 /単位	１３８０ 単位時間 /単位	１８０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
２４０人	１４９人	３０人	９人	４５人	５４人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

様式第２号の３に記載した内容を参照

成績評価の基準・方法

様式第２号の３に記載した内容を参照

卒業・進級の認定基準

様式第２号の３に記載した内容を参照

学修支援等

（概要）

（学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定Ａ～Ｅの５段階で評価し、評価Ａ～Ｄに対して１年次授業料を減免します。評価Ａ：９０万円減免、評価Ｂ：４５万円減免、評価Ｃ：１０万円減免、評価Ｄ：５万円減免となります。

（カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
87 人 (100%)	2 人 (2.3%)	72 人 (82.8%)	13 人 (14.9%)

（主な就職、業界等）

ゲーム、アニメーション、映画、広告業界。代表的な職種：３ＤＣＧモデラー、アニメーター、リガー、エフェクトアーティスト、コンポジター、映画エディター、モーショングラフィックスデザイナー、プロダクションマネージャーなど。

（就職指導内容）

１年前期：業界研究、職種研究。１年後期：具体的な就職指導準備、説明会等の開催。２年前期：説明会・見学会の開催。個別面談による対策。２年後期：未内定者対策、ビジネスマナー等の指導を実施しています。。

（主な学修成果（資格・検定等）） ＣＧクリエーター検定 企業や団体と連携してＣＭ撮影制作や映像制作の現場で実践を体験することが出来ます。
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89 人	1 人	1.1%
（中途退学の主な理由） 求められる技術が多岐にわたるため、技術面で後れてしまい退学に至るケースが多く見られます。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 頻繁な個別面談と学科内で勉強会や補修の対策を講じています。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	デザイン専門課程	プロダクトデザイン学科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	１７１０ 単位時間／単位	２１０ 単位時間 /単位	５４０ 単位時間 /単位	９６０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１２０人	７１人	２１人	５人	２７人	３２人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

様式第２号の３に記載した内容を参照

成績評価の基準・方法

様式第２号の３に記載した内容を参照

卒業・進級の認定基準

様式第２号の３に記載した内容を参照

学修支援等

（概要）

（学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定Ａ～Ｅの５段階で評価し、評価Ａ～Ｄに対して１年次授業料を減免します。評価Ａ：９０万円減免、評価Ｂ：４５万円減免、評価Ｃ：１０万円減免、評価Ｄ：５万円減免となります。

（カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
30 人 (100%)	1 人 (3.3%)	24 人 (80%)	5 人 (16.7%)

（主な就職、業界等）

プロダクトデザイナー（カーデザイナー、家具デザイナー、雑貨デザイナー、アクセサリーデザイナー、トイデザイナー等）、商品企画、設計、モデラー、デジタルモデラー、ＣＡＤオペレーター等。

（就職指導内容）

業界研究、企業インターン、適性検査、一般常識、就職セミナー（履歴書、エントリーシートの書き方、面接について、企業の募集スケジュール、内定者セミナー等）個別面談、企業説明会、企業見学会、面接練習等を学科職員と協力して行っています。

（主な学修成果（資格・検定等）） プロダクトデザイン検定等 文房具メーカーとの紙製品制作の産学共同やスマートフォン機器のカバー等を製造する企業と産学共同を進めて製品化を行っています。またスマートフォン関連では制作費用はクラウドファンディングを活用して実施しています。
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30　人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） 現在中途退学者なしです。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 進路方向変更を防止するため、入学する際に方向性をしっかり確認し、特に留学生に関して、大学へ進学希望があるのかを入学前把握するようにしています。 金銭面でアルバイトと学業両立が必要な学生に関して、授業内容や課題を個ロー、放課後の個別スクーリング等でサポートしています。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	デザイン専門課程	ファッションデザイン学科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	１７１０ 単位時間／単位	２７０ 単位時間 /単位	１０８０ 単位時間 /単位	３６０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
６０人	４４人	９人	３人	１１人	１４人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

様式第２号の３に記載した内容を参照

成績評価の基準・方法

様式第２号の３に記載した内容を参照

卒業・進級の認定基準

様式第２号の３に記載した内容を参照

学修支援等

（概要）

（学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定Ａ～Ｅの５段階で評価し、評価Ａ～Ｄに対して１年次授業料を減免します。評価Ａ：９０万円減免、評価Ｂ：４５万円減免、評価Ｃ：１０万円減免、評価Ｄ：５万円減免となります。

（カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
10 人（100%）	0 人（ 0%）	9 人（ 90%）	1 人（ 10%）

（主な就職、業界等）

ファッションデザイナー・コスチュームデザイナー・バイヤー・ヘアメイクアーティスト・ネイリスト・アパレルショップ店員など

（就職指導内容）

業界研究、定期性検査、一般常識、就職セミナー（履歴書、エントリーシートの書き方、面接について等）個別面談、企業説明会、企業見学会、面接練習等を学科職員と協力して進めています。

（主な学修成果（資格・検定等）） サービス接遇検定３級、AFT 色彩検定３級、ファッションビジネス検定３級、JNCE ネイル技能検定１～３級　メイクアップ技能検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11　人	１人	9%
（中途退学の主な理由） 現在中途退学者なしです。		
（中退防止・中退者支援のための取組） ＳＮＳの活用で個別対応を可能な環境を構築しています。今後面談対応も充実していく方向です。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	デザイン専門課程	コミックイラスト学科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	１７１０ 単位時間／単位	２１０ 単位時間 /単位	１３２０ 単位時間 /単位	１８０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１２０人	１５１人	５６人	３人	１０人	１３人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

様式第２号の３に記載した内容を参照

成績評価の基準・方法

様式第２号の３に記載した内容を参照

卒業・進級の認定基準

様式第２号の３に記載した内容を参照

学修支援等

（概要）

（学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定Ａ～Ｅの５段階で評価し、評価Ａ～Ｄに対して１年次授業料を減免します。評価Ａ：９０万円減免、評価Ｂ：４５万円減免、評価Ｃ：１０万円減免、評価Ｄ：５万円減免となります。

（カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
71 人 (100%)	5 人 (7%)	33 人 (46.5%)	33 人 (46.5%)

（主な就職、業界等）

コミックイラストレーター・2DCG グラフィッカー・グラフィックデザイナー・挿絵画家・漫画家・キャラクターデザイナー・グッズデザイナーなど

（就職指導内容）

社会人育成指導講座、学内企業説明会、学内企業選考会、個人面談、ポートフォリオ指導などの指導を進めています。

（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩士検定等 マスキングテープのデザインを毎年採用頂き大手企業で販売、ガラス製品のデザイン提案も進めており墨汁を入れる瓶のデザイン採用や２年ごとに自転車のデザインのリニューアル及びプロモーション広告のデザインなどを手掛けさせて頂いています。
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
74 人	1 人	1.4%
（中途退学の主な理由） 留学生が家庭事情により退学に繋がるケースが増えています。また精神的な面や人間関係なども含めて多様であります。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談を頻繁に行い、学生の状況確認に努めています。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	デザイン専門課程	デザイン研究学科	―	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
１年	昼間	８７０ 単位時間／単位	９０ 単位時間 /単位	２４０ 単位時間 /単位	５４０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
３０人	５人	４人	１人	２人	３人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
様式第２号の３に記載した内容を参照
成績評価の基準・方法
様式第２号の３に記載した内容を参照
卒業・進級の認定基準
様式第２号の３に記載した内容を参照
学修支援等
（概要） （学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定Ａ～Ｅの５段階で評価し、評価Ａ～Ｄに対して１年次授業料を減免します。評価Ａ：９０万円減免、評価Ｂ：４５万円減免、評価Ｃ：１０万円減免、評価Ｄ：５万円減免となります。 （カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
８人（100%）	１人（ 12.5%）	６人（ 75%）	１人（ 12.5%）

（主な就職、業界等）
デザイナー職及びイラストレーター、漫画家。グラフィックデザイン業界、インテリア建築業界、ファッション業界、プロダクト業界、映像業界等。

（就職指導内容）
企業インターンシップを主とし社会人育成指導講座、学内企業説明会、学内企業選考会、個人面談、ポートフォリオ指導などの指導を進めています。

（主な学修成果（資格・検定等）） 取得検定資格は特になし 産学連携で企業と連携して実践的な取り組みを進めます。
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	4 人	28.5%
（中途退学の主な理由） 留学生が増加の傾向があり、出席率の関係でビザ問題や日本人は家庭事情により退学に繋がるケースが増えています。精神的な面や人間関係なども含めて多様であります。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談を頻繁に行い、学生の状況確認に努めています。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	デザイン専門課程	デザイン総合学科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼間	２５２０ 単位時間／単位	３６０ 単位時間 /単位	７２０ 単位時間 /単位	１４４０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
３０人	０人	０人	１人	３人	４人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

様式第２号の３に記載した内容を参照

成績評価の基準・方法

様式第２号の３に記載した内容を参照

卒業・進級の認定基準

様式第２号の３に記載した内容を参照

学修支援等

（概要）

（学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定Ａ～Ｅの５段階で評価し、評価Ａ～Ｄに対して１年次授業料を減免します。評価Ａ：９０万円減免、評価Ｂ：４５万円減免、評価Ｃ：１０万円減免、評価Ｄ：５万円減免となります。

（カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
０人 (−%)	０人 (−%)	０人 (−%)	０人 (−%)

（主な就職、業界等）

デザイナー、企画職など。グラフィックデザイン業界、インテリア業界をはじめ、映像、ファッション、プロダクトなど、多彩な分野。

（就職指導内容）

企業インターンシップを中心に、社会人基礎力を育てるキャリア指導講座、学内での企業説明会・選考会、ポートフォリオ指導、個別面談などを通じて、段階的に就職活動をサポートします。

（主な学修成果（資格・検定等） パース検定、色彩検定などに対応。 また、企業と連携した産学プロジェクトにより、発想力・表現力・実践力を身につけ、業界で即戦力となる人材を育成します。
（備考）（任意記載事項） 2025 年度新設学科となります

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
－人	－人	－%
（中途退学の主な理由） 。		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	建築 専門課程	建築デザイン学科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	１８３０ 単位時間／単位	７５０ 単位時間 /単位	３６０ 単位時間 /単位	７２０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位	０ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
６０人	４２人	２２人	３人	１７人	２０人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

様式第２号の３に記載した内容を参照

成績評価の基準・方法

様式第２号の３に記載した内容を参照

卒業・進級の認定基準

様式第２号の３に記載した内容を参照

学修支援等

（概要）

（学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定Ａ～Ｅの５段階で評価し、評価Ａ～Ｄに対して１年次授業料を減免します。評価Ａ：９０万円減免、評価Ｂ：４５万円減免、評価Ｃ：１０万円減免、評価Ｄ：５万円減免となります。

（カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11 人 (100%)	1 人 (　　9%)	6 人 (　　55%)	4 人 (　　36%)

（主な就職、業界等）

一般建築設計事務所の意匠設計・建築会社。戸建て住宅メーカーの建築設計、ショップデザイン会社のデザイナー、施工管理、ステージ制作会社の施工管理等。

（就職指導内容）

個別指導を中心として、自己の強みの発見、履歴書やエントリーシート作成支援、適性求人の紹介と斡旋、面接対策等。適宜、企業招致の会社説明会を実施しています。

（主な学修成果（資格・検定等）） １級建築士、２級建築士、木造建築士、１級建築施工管理技士、２級建築施工管理技士等。毎年企業連携の成果として店舗の設計・施工に携わっています。
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	3 人	21.4%
（中途退学の主な理由） 大学への編入学や留学等の進路変更です。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 少人数を活かして学生との面談機会を頻繁にとるように心がけています。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	170,000 円	920,000 円	300,000 円	令和7年度学費改定/その他は選考料、施設費、教育充実費、
ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ学科	170,000 円	920,000 円	300,000 円	同上
ｲﾝﾃﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	170,000 円	920,000 円	300,000 円	同上
ﾌｨｷﾞｭｱﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	170,000 円	920,000 円	300,000 円	同上
ﾏﾝｶﾞ学科	170,000 円	920,000 円	300,000 円	同上
映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	170,000 円	920,000 円	300,000 円	同上
ﾌﾟﾛﾀﾞｸﾄﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	170,000 円	920,000 円	300,000 円	同上
ﾌｧｯｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	170,000 円	920,000 円	300,000 円	同上
ｺﾐｯｸｲﾗｽﾄ学科	170,000 円	920,000 円	300,000 円	同上
ﾃﾞｻﾞｲﾝ研究学科	170,000 円	920,000 円	300,000 円	同上
ﾃﾞｻﾞｲﾝ総合学科	170,000 円	920,000 円	300,000 円	同上
建築ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	170,000 円	920,000 円	300,000 円	同上
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページにて公表 URL https://www.tdg.ac.jp/common/pdf/tdg_Selfassessment.pdf
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
教育目標に従った人材育成ができているか、その教育目標を学科の指針として具体的に展開できているかについて関係業界、卒業生と対象として自己評価の結果にそって説明する事で、教育目標、教育方法や内容、管理体制を評価いただく。学校はその評価に基づき、幹部会議（執行委員会）で改善策をまとめ、優先順位を付けて予算化し、改善プランを策定後、学校長の許可を得て実行する。これを学校関係者評価の基本方針とする。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
有限会社藤原アイアン・クラフト	2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日	企業及び関係団体・有識者代表
一般社団法人　東京建築士会	2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日	企業及び関係団体・有識者代表
公益財団法人　画像情報教育振興協会（ＣＧ-ＡＲＴＳ協会）	2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日	企業及び関係団体・有識者代表
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページで公表 URL https://www.tdg.ac.jp/common/pdf/tdg_Hyouka.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページで公表 URL http://www.tdg.ac.jp

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113310100081
学校名（○○大学 等）	専門学校東京デザイナー・アカデミー
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人２１世紀アカデメイア

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		90 人 (0人)	78 人 (-人)	95 人 (-人)
内訳	第Ⅰ区分	57 人	44 人	
	（うち多子世帯）	(0人)	(-人)	
	第Ⅱ区分	19 人	17 人	
	（うち多子世帯）	(0人)	(-人)	
	第Ⅲ区分	14 人	15 人	
	（うち多子世帯）	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	0 人	－ 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0 人	－ 人	
	区分外（多子世帯）	0 人	0 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0 人 (0人)
合計（年間）				95 人（ 人）
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0 人	0 人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	－ 人	0 人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0 人	0 人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0 人	－ 人
計	人	人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0 人	後半期	0 人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	－ 人	－ 人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	人	0 人	0 人
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	12 人	－ 人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0 人	0 人
計	人	12 人	－ 人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。